

さるた和三

公式サイトをぜひご覧ください。



人口対策、真っ向勝負。

「継続か刷新か」と言われることがあります。何にもないところにタネを撒いて、何度も足を運んで育てた企業との絆や、ようやく秋田を見はじめてくれた諸外国との信頼関係。再生可能エネルギーや企業誘致で増やしてきた雇用、やっとの思いで減らしてきた人口の社会減、新規就農者の増加や高卒者の県内就職率向上。それを、「刷新」だと言っても一度更地にして、一からは始めるのではもう遅い。継続すべきものは継続して、刷新すべきものは刷新する。私は、秋田に生まれ育ち、一県庁職員としても、副知事としても全

県をくまなく歩いて、見て、話を聞いてきました。知っているからこそ、何を継続すべきか、何をどう変えたら良いかわかるものがあります。若者だけではなく高齢者も、大企業だけではなく中小企業も、与党も野党も、秋田のことを思ってくれる人たち、そのすべての力を合わせて秋田が発展していく。その先頭に立って、すべての人とつながって、前に。今よりもっと早く、強く進んでいきたい。秋田の最大の課題、人口対策に真っ向勝負を挑む。覚悟を決めて、やり抜きます。

さるた和三プロフィール

1963年、秋田県秋田市豊岩で農家の三男として生まれました。幼少期から野球に打ち込み、秋田高校では硬式野球部の主将に。猛勉強の末慶応義塾大学法学部に進学し、体育会野球部の主将、日米大学野球日本代表で主将を務めました。大学卒業後は、生まれ育った秋田のために働きたいと秋田県庁に入庁、産業労働部長を経て2021年から副知事。県庁時代は、主に財政運営や産業振興に取り組み、特に産業振興部門では多くの企業誘致を成功させ、秋田の雇用と経済を充実させてきました。2024年11月、秋田の人口対策に真っ向勝負を挑み、次世代に誇れる秋田を引き継ぐ決意を持って副知事を辞任。新たな挑戦の場に立っています。妻と娘2人（社会人）の4人家族。

最終開催 その他の日程は公式サイトで

さるた和三と語る会

全県25市町村で「さるた和三と語る会」を開催しています。日ごろの困りごとや秋田発展のアイデアなど、何でもお聞かせください。みんなで強い秋田をつくりましょう。

水曜日 18:00~ 秋田市 秋田キャッスルホテル 秋田市中通1丁目3-5

入場 無料
申込 不要
手話通訳 あり

 元内閣総理大臣 衆議院議員 菅 義偉	猿田さんと会うたびに、私たちの“ふるさと秋田”の発展に情熱を注いでいる姿を目の当たりにしてきました。秋田の皆さん、いま、秋田は洋上風力発電や農業、すぐれた教育による人材育成など、未来への大きな飛躍のチャンスを迎えています。そこに尽力してきたのが猿田さんです。彼は永田町でも名が知られ、党派を問わず信頼されています。産業界をはじめとした県内外の方々との強い信頼関係、何より頼まれなリーダーシップを生かして、これからの秋田を力強くけん引してください。
 トヨタ自動車株式会社 元副社長 日本科学技術連盟 理事長 佐々木 真一	私は、生まれ故郷の秋田で産業の活性化を進める県の熱意に共感し、協力しています。そこで猿田さんの信頼できる人柄とパワフルな仕事力に接してきました。県政が築き上げた日本トップクラスの教育体系や洋上風力発電などの強固な産業基盤を地方創生として結実させ、県民の皆さまの豊かな暮らしを実現する次期リーダーには猿田さんが最もふさわしいと信じています。猿田応援団東海支部長として心から応援しています。
 連合秋田 (日本労働組合総連合会 秋田県連合会) 会長 小川 純	2024春闘では33年ぶりの大幅な賃上げが実現したものの、物価高が家計を圧迫し、生活向上を実感している人は少ない。四半世紀に及ぶ慢性デフレに終止符を打ち、動き始めた賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せるための布陣には、県の産業労働部門でキャリアを積み上げてきた「期待の大型新人」こそ相応しい。「働く場の創出」、「物価高対策」、そして「賃金の上昇」というトリプルプレーの起点は「さるた和三」だ。
 株式会社松田 代表取締役社長 秋田経済同友会 常任理事 松田 悦子	「秋田には可能性も希望もないなんてもう言わせない。絶対に諦めない!」猿田さんの言葉と行動から、そんな強い覚悟を感じます。秋田の眠っている可能性や人的資源を掘り起こし、誰もが秋田に誇りを持ち、「秋田に生まれて良かった」と思える県政の舵取りをしてくださると信じています。まさに今が秋田の未来を決める大事な分かれ目。学生時代や行政経験で培われた素晴らしい人間力とリーダーシップに心から期待しています。
 秋田県議会議員 (自由民主党) 柴田 正敏	10年以上も前に、議員の先輩で医師だった方から聞いた話があります。阪神淡路大震災のとき、秋田県からも医療救護班が現地に行きました。その方は医師としてそこに行き、後に「猿田の動きはすごかった。まさに命がけ、人が嫌がる仕事を率先してやった」と言っていました。当時、私は猿田さんを知りませんでした。野球で有名だったことも知りませんでした。そして今、他者を思いやるこの人間性にかけてみようと思っています。
 秋田県議会議員 (立憲民主党) 櫻田 憂子	雇用、賃金、労働環境も大切ですが、これからの秋田には若者にとって魅力ある良質な職場が必要であり、猿田さんの実績をみたときに、それを叶えられると思いました。また、猿田さんのリーダーシップを評価する声が多いのは周知のことですが、秋田の将来像という大きな視点もありながら、今の暮らしのなかで困っている一つひとつの小さな声も大切にしてくれる人物であり、リーダーに最もふさわしい人物だと確信しています。
 衆議院予算委員長 衆議院議員 安住 淳	猿田さんを心から応援します。私がNHK秋田支局に勤務していた時代から今に至るまで、彼の地道な努力と誠実な仕事ぶりには本当に感心していました。野球を通じて鍛えた強い精神力とリーダーシップは目を見張るものがあります。経験、実績、そして力強いリーダーシップを兼ね備えた猿田さんは、人口減少が続く秋田にとっての切り札です。安心して暮らせる秋田を守り、次の世代につないでいくために、猿田さんが秋田を導いていくことを心から期待しています。
 NPO 法人ホームホスピス 秋田理事長 中村 順子	猿田さんには今までの県政を刷新する新しいリーダーになってくれることを期待しています。今までの政治で足りなかったところをきちんと認め評価したうえで、今後の秋田県に求められるものを示してくださいと思います。県民の暮らしや命を守ることは大変重要です。足元を固め、さらに夢のある未来を示してくださいと思います。よう心からお願いしたいと思います。
 農業法人平沢ファーム 佐藤 茂	平沢ファームは、県の後押しを受けた「園芸メガ団地」の一つとして2015年にスタートしました。メンバー全員が協力し、米・枝豆・ネギ・ダリアなどの複合経営に取り組んでおり、近年は若い社員も加わってくれました。県内の農業法人の多くが後継者の確保に難儀しておりますので、猿田さんには、豊かな農政経験をいかして、強力なバックアップをお願いします。そして、日本の食料基地秋田を目指してリーダーシップを発揮してください。
 Honda 野球部 元監督 長谷川 寿	猿田先輩を心から応援しています。秋田高校と慶応義塾大学の野球部、日米大学野球代表チームの主将として培われたリーダーシップ、そして36年にわたる県庁での職務を通じて積み重ねた経験、どんな困難にも立ち向かう強い意志は、秋田の未来を切り拓く大きな力になると確信しています。先輩の熱意と誠実さが必ず多くの皆さまに届くことを信じています。最後まで全力疾走してください。
 秋田県議会議員 (みらい) 三浦 茂人	次のリーダーに求められるもの、それは、決断力と実行力、リーダーシップ、そして人望だと思います。日米大学野球で主将を務め、チームをまとめ、日本を代表する選手たちに尊敬され、最終試合で逆転のサヨナラホームランを打った人物。県庁を引っ張り、企業に信頼され、多くの企業誘致を実現してきた人物。これほどのリーダーシップを持った人はなかなかいません。これからの県政を託すに最もふさわしい人物だと確信しています。
 秋田県議会議員 (社会民主党) 加藤 麻里	猿田さんは秋田の農家の生まれ。農政にも関わり、農家の思いや暮らしを理解しています。そして、慶応大学を卒業したら、東京でいくらでも仕事があったなか、秋田に戻って、秋田のために頑張ろうと思った。その思いにかけてみようと思いました。「人の目にとまりにくい、目立たない貢献を大切に、嘘のない感謝をきちんと伝えること」を大切にしているそうで、これは、私が長年見てきた猿田さんの人柄そのものです。

このほか、たくさんのメッセージをいただいています。詳しくは公式サイトをご覧ください。

人口対策、真っ向勝負。

秋田県の最大の課題は人口対策です。2025年の人口は89万人ですが、10年後には75万人、20年後には62万人になると推計されています。人口減少は消費の縮小などを通じて経済の縮小にもつながり、この負のスパイラルを何としてでも止めなければなりません。

これまで、私は一県庁職員として、さらには副知事として再生可能エネルギーや企業誘致、高卒者の県内就職や新規就農者の増加などに取り組み、やっとの思いで人口の社会減を減らしてきました。これらの取り組みは続けなければなりませんし、さらに強化しなければならないもの、新たに挑戦しなければならないものもあります。

私は、未来にわたって持続可能な地域とは、「十分な所得があり、誰もが安心安全に暮らし、社会全体で子どもを育てていく地域」だと信じています。

所得を増やすこと、暮らしを守ること、子どもを育むこと。この3本柱で人口対策に真っ向勝負を挑みます。

覚悟を決めて、やり抜く。

1

所得を増やす

最低賃金目標を1.5倍に。

全国との賃金格差を解消し、中小企業の収益力を引き上げます。また、食料供給基地秋田の地域を確固たるものにして、収益力の高い農業を実現します。

中小企業が物価上昇や賃上げ分を価格転嫁できる仕組みづくり

トップセールスによる商品・技術等のPR

官民連携による事業承継やM&Aの推進

高校生の就業体験や外国人材の受入強化等の人材確保支援

企業や個人のリスキリング支援による能力向上

秋田米の生産増強とスマート農業の確立

園芸メガ団地の拡大と畜産振興による循環型農業

新規就農対策の強化

ほ場整備等基盤整備の推進、漁港・漁場整備と養殖の推進

林業の生産性向上と森林の循環利用・再造林の強化

再生可能エネルギー工業団地による未来型企业誘致

空路や航路、SNS配信によるインバウンド強化

2

暮らしを守る

物価高対策費を2倍に。

まずは物価高対策、クマ対策、特殊詐欺対策を強化します。医療・介護・福祉・交通の提供体制を盤石にし、インフラの維持と災害対策に万全を期します。

物価高で困窮している世帯への給付金

買物支援やエネルギー価格の高騰対策の実施

狩猟者の確保育成や里山管理等の地域の取組支援

特殊詐欺の徹底した広報活動

地域住民の助け合いによるライドシェアシステム等の検討

内陸線、由利高原鉄道の集客力・収益力の強化支援

訪問看護、訪問介護の早急な立て直し

医療、介護、福祉の人材確保に向けた修学資金の充実と処遇改善

がんゲノム医療の推進など先進医療の提供によるがん対策

河川改修など防災インフラの強化と流域治水体制の構築

消防団員の確保など消防力の維持・強化

多様性条例の浸透といじめやバワハラ撲滅

3

子どもを育む

給食費・医療費・保育料を無料に。

秋田は日本で最も少子化が進んでいるからこそ、生まれてきた子どもたちを日本一大切に作る秋田、社会全体で子どもを育む秋田をつくります。

学校給食費、子どもの医療費、保育料の無償化

誰でも高等教育を受けられるよう奨学金制度の充実

子ども食堂やフリースクールを支援し、成長と学びをサポート

困難な環境にある子どもたち、障がいを持つ子どもたちへの支援拡充

男女とも育児休暇を取得しやすい就業環境の整備

保育士の確保や学童クラブの充実

職業体験や伝統文化、食育など知る機会の充実

スポーツの指導人材の育成やトップレベルの選手の招聘

世界で活躍するスポーツ選手の育成

社会問題になっているヤングケアラーへの支援

ふるさと教育の充実

子ども国際交流団の派遣など双方向の交流促進

特色を生かし、連携を強化する。

秋田県の面積は全国で6番目に大きく、青森・岩手・宮城・山形と4つの県に接し、人の流れや生活・交流圏が地域によって多様です。また、国指定の重要無形民俗文化財は全国最多で、各地で独自の食文化を持つなど、地域ごとの特色にあふれた県です。

インバウンドをはじめとした観光振興や交流を支えるインフラ整備、二次医療圏・三次医療圏といった医療提供体制、防災や災害対応などでは地域の連携を強化しながら、各地域の強みをいかした特色ある地域

づくりが大切だと考えています。

観光や物流など県境をまたいで連携を強化し、発信していくもの、再生可能エネルギーや食料供給基地といったオール秋田で強化、発信していくもの、景勝地や伝統文化、食といった地域ごとの特色を強化、発信していくもの。それぞれの強みをいかして、秋田から世界へ、自分たちが暮らし、次世代に引き継いでいく地域を育て、売り込んでいきましょう。

能代山本地域

木材と再生可能エネルギーの拠点に

林業・木材産業の再興と洋上風力発電や水素ラボ構想、再エネ工業団地、能代港の整備を進め、再生可能エネルギー拠点にします。また、白神ネギやジュンサイなどの特産品の生産拡大と養殖漁業を確立し、世界自然遺産白神山地を核として観光力を高めます。

男鹿潟上南秋田地域

人材育成と農業・漁業、観光の拠点に

男鹿ではじまった再エネ・海洋人材の育成、県立大大潟キャンパスでの農業人材の育成、五城目町での人材交流などを強化します。また、米や野菜、果樹、花きに加え、魚介類の養殖を確立、男鹿のナマハゲや自然、五城目朝市などでの観光を強化します。

秋田地域

ビジネスと観光の滞在・物流・交流拠点に

秋田市は空港、新幹線、港といったインフラを有する人とモノの拠点です。秋田空港国際線の定期便化やクルーズ船を増便し、さらに人とモノを呼び込みます。また、再生可能エネルギー関連産業の育成と再エネ団地の整備、若者のスタートアップ拠点にします。

由利本荘にかほ地域

再生可能エネルギーと物産観光拠点に

全国初の浮体式大型風車による実証実験を推進し、関連産業を育成します。また、鳥海エリアなどの自然、野菜や畜産といった食のブランド化、日治道「遊佐象潟道路」の早期全線開通、由利高原鉄道の集客力・収益力の強化を通じて、地域の観光力を高めます。

大館地域

製造業・食文化・観光を柱に

医療品製造などの企業集積をさらに進め、雇用と所得を増やしていきます。また、きりたんぼやとんぶり、比内地鶏などの食と世界に通ずる秋田犬、伝統工芸曲げわっぱや木材産業などの地場産業を強め、製造業と食文化、観光を三本柱とした地域づくりを進めます。

鹿角小坂地域

リサイクルと観光の拠点に

資源リサイクル産業などの地域産業を伸ばし、果樹・野菜・畜産のブランド力を強化し、十和田八幡平や世界文化遺産ストーンサークル、小坂明治100年通りや温泉、道の駅や花輪スキー場といった観光資源をいかして、国内外から多くの人が訪れる地域づくりを進めます。

北秋田上小阿仁地域

交通・観光の拠点に

大館能代空港や内陸線、主要国道が交差する交通の要所です。また、比内地鶏やニンニク、山の芋など特色ある農産物もあります。航空便増便や森吉山などをいかした内陸線の集客力・収益力の強化、国道105号線大覚野峠の整備などで交通・観光の拠点にします。

大仙仙北美郷地域

日本を代表する観光と食料供給の拠点に

大曲の花火や角館の武家屋敷、田沢湖や多様な温泉、スキー場など、日本を代表する観光地に育てます。さらに、盛岡からの人の流れを県内他地域に誘導するインフラ整備を進めます。また、米を中心としながら野菜や生薬など日本の食料基地の地位を確立します。

横手地域

企業誘致と物産観光の拠点に

さらに企業誘致を進めます。秋田自動車道の4車線化を進めて物流と人の交流インフラを整備し、内蔵の町「増田」やふるさと村といった観光の核への流入を増やし、県内他地域への流れをつくります。また、米や野菜、果樹やいぶりがっこなどの特産化をさらに進めます。

